

説明資料 1

1. 本プロジェクトで目指したいまちの姿
2. まちづくり勉強会の趣旨と進め方

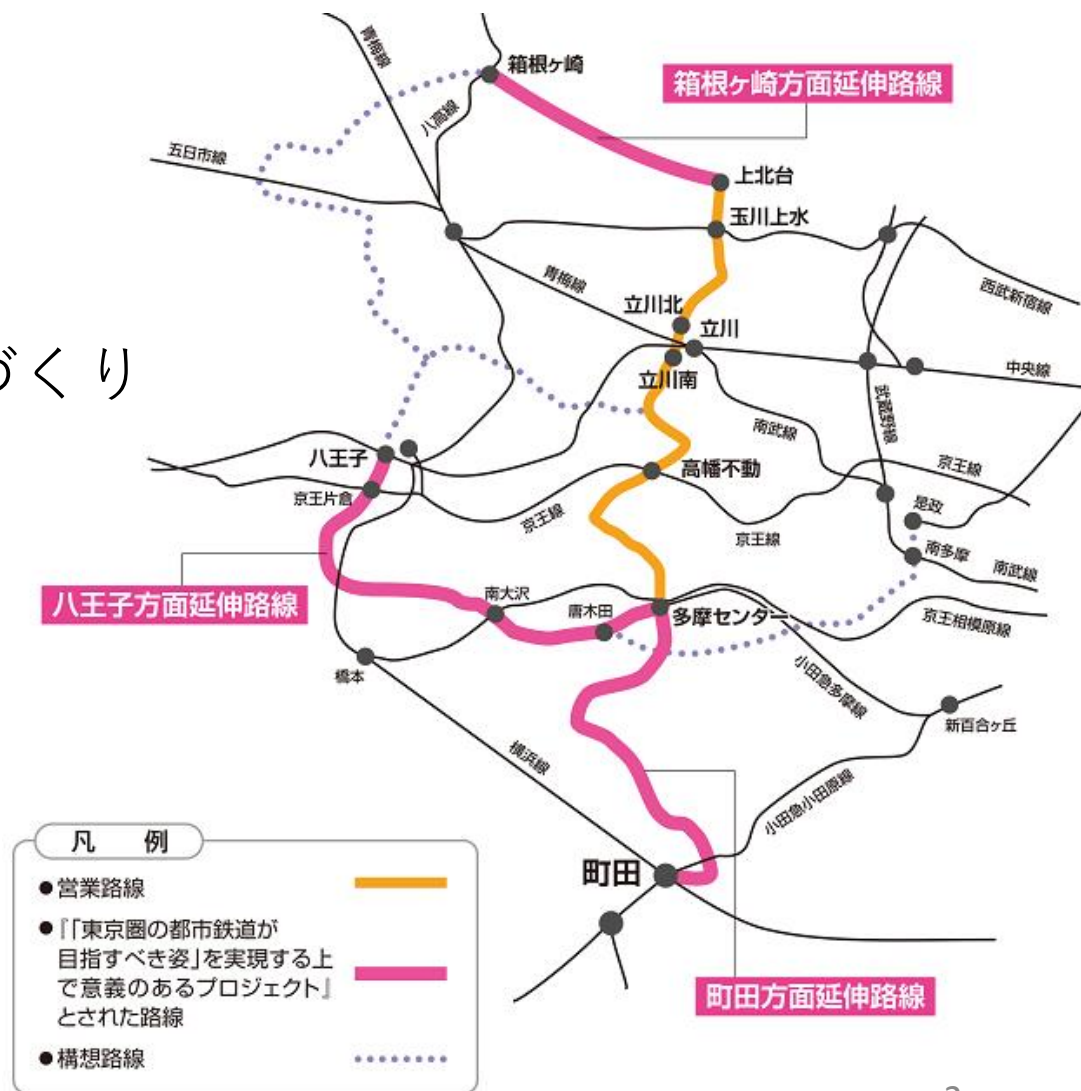
0. 都市政策課多摩都市モノレール推進室の業務

1 多摩都市モノレール町田方面延伸の
早期実現に向けた協議・調整

2 モノレール沿線の主要な3地域のまちづくり

町田駅周辺

- 木曾山崎団地周辺
- 忠生・北部丘陵（小山田）



1. 本プロジェクトで目指したいまちの姿



町田市を様々な面で牽引する
町田駅周辺を
さらに魅力的にしていきたい

10の“夢”まちプロジェクト

各プロジェクトが推進されている



芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクト
パークミュージアム



中央通り無電柱化

“夢”かなう
まちへ

プロジェクトMAP

10の“夢”まちプロジェクト

当地区はプロジェクト7に位置づけられている

・民間とのコラボレーションによる公共施設の再編（保健所中町庁舎・健康福社会館）など

・新交通ターミナルの整備検討

・駅前地区について市街地再開発事業準備組合や勉強会の立ち上げ

・デッキ上の情報発信施設整備の検討

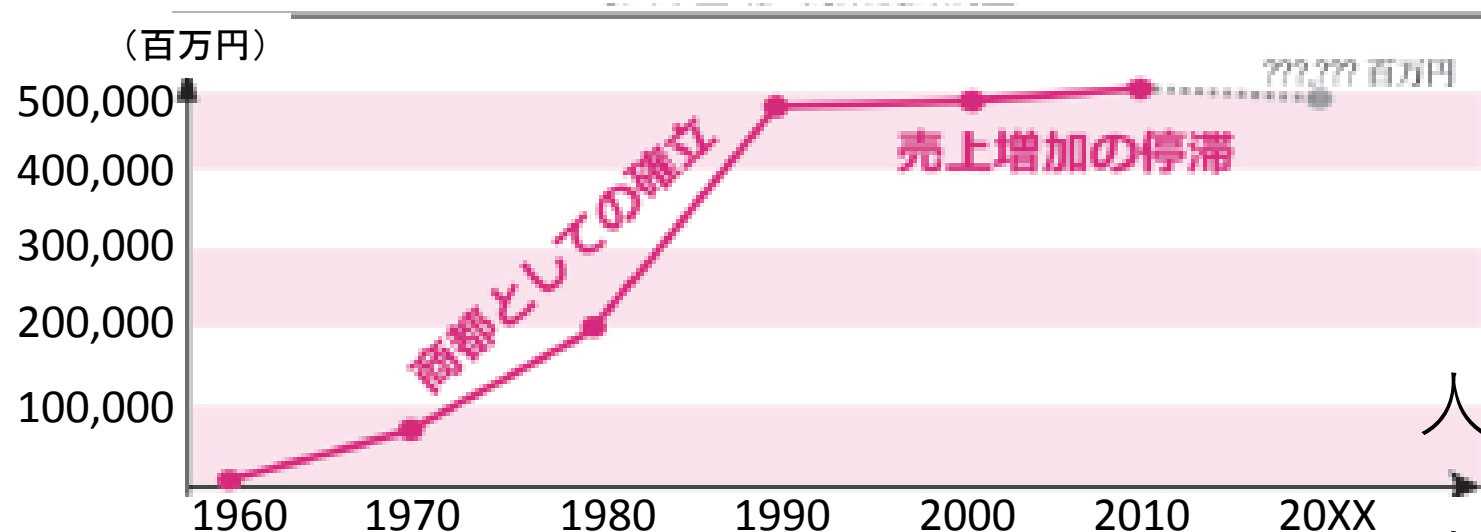


・原町田大通りの車道の一部を使用した休憩スペース等（パークレット）の整備

計画がつけられた課題意識①

商業売上の動向

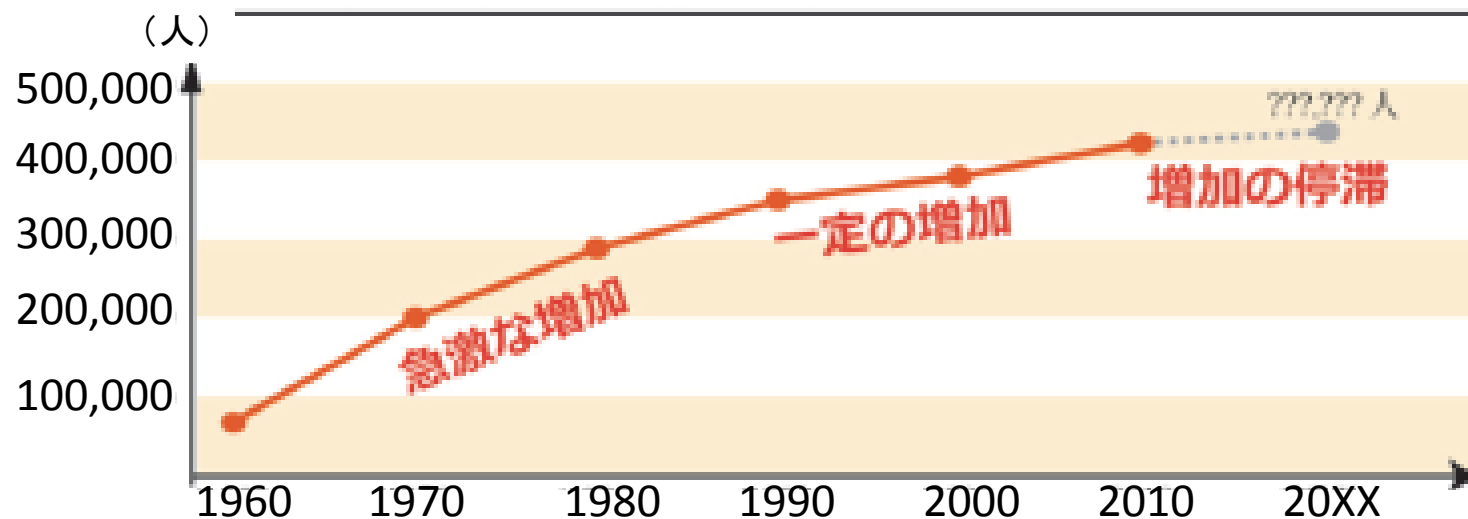
町田市全域／商業統計調査



人口増の収まり
とともに
商業売り上げの
停滞期へ

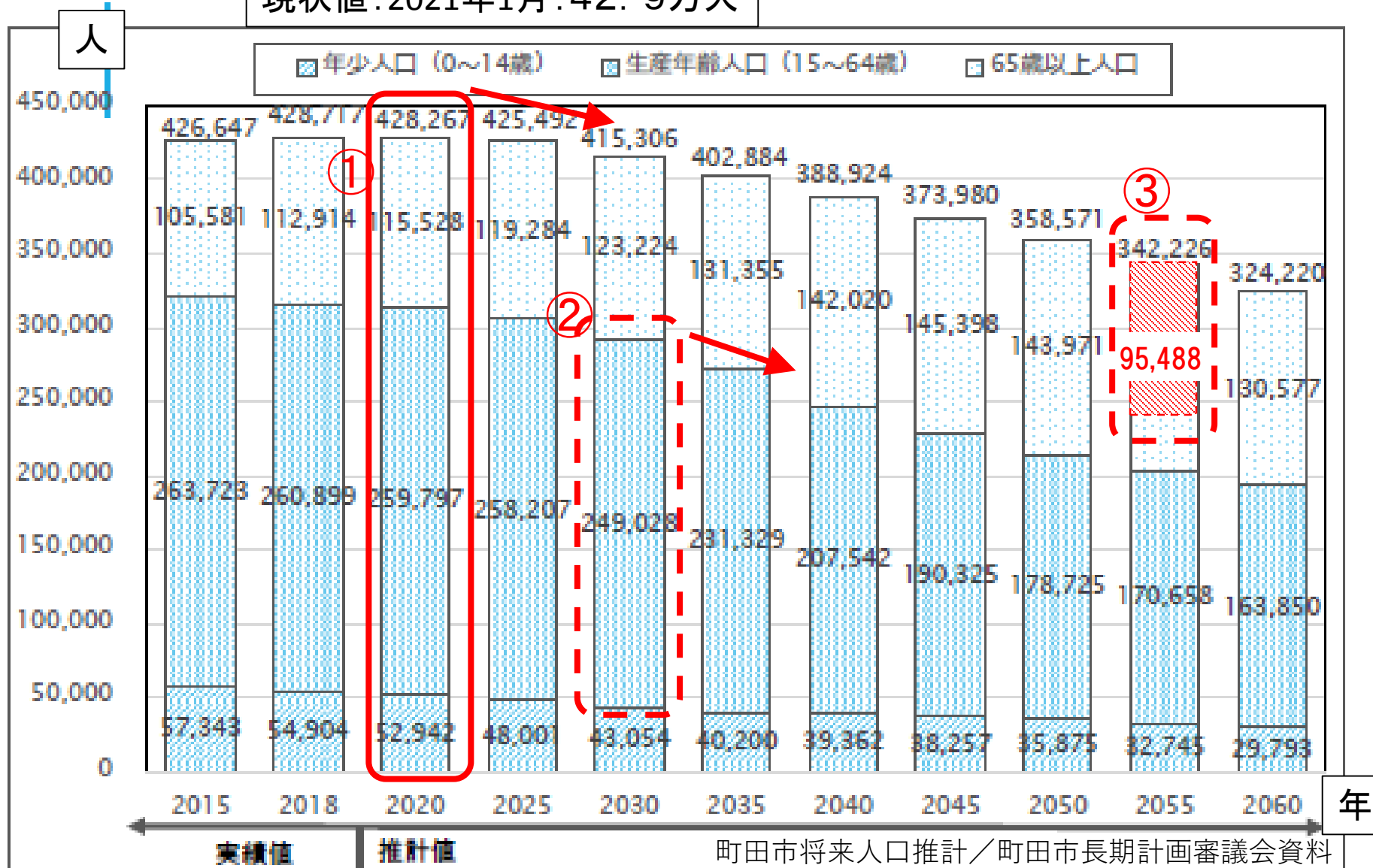
人口増加の動向

町田市全域／国勢調査報告



計画がつけられた課題意識②

現状値：2021年1月：42.9万人



今後は
人口動向の局面
が大きく変わる

- ① 町田市総人口は2022年がピーク。
- ② 生産年齢人口は2030年から大幅に減少。
- ③ 2055年に75歳以上は9万5千人とピークに。(2021年は6万3千人)

町田駅周辺のまちが抱える大きな課題と対応の方向性

- ①生産年齢人口の減少⇒商業の需要は低下（買う人の減少）
 - * 商業だけではない目的が必要
- ②人口減少⇒都市間競争の激化（住む人、働く人、買う人の取り合い）
 - * 町田らしさを活かした、まちの魅力が必要
- ③高齢者の増加
 - ⇒福祉・医療需要増、孤独化、移動手段が限定
 - * 多世代にとって居心地が良く、交流の生まれるまちになる必要

町田駅周辺全体で目指す方向性①

① まちの多機能化

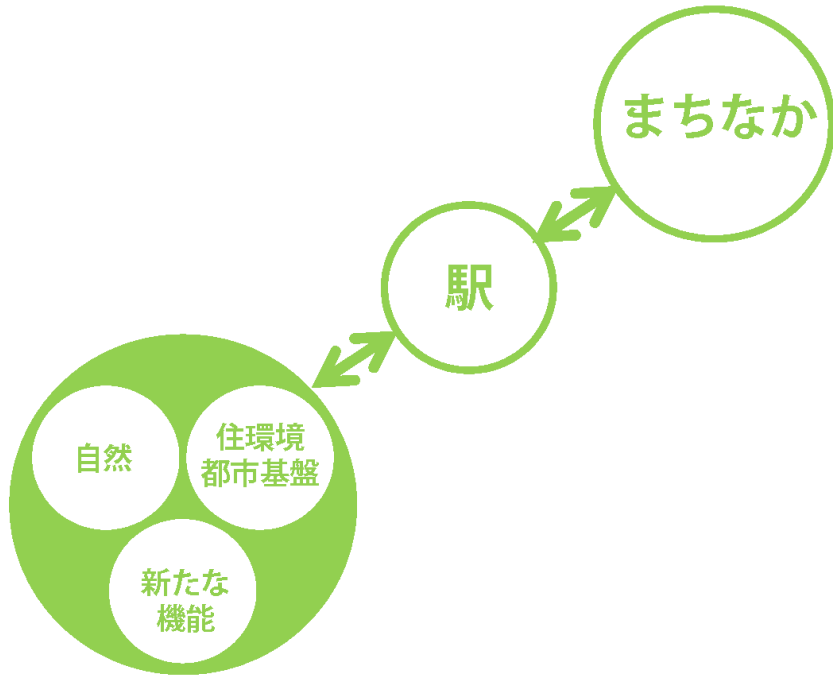
⇒ 買い物や飲食だけでなく、
住む、働く、学ぶ、
体験する、交流するetc

町田駅周辺全体で目指す方向性②

② ウォーカブルなまちへ
(居心地が良く歩きたくなる)

⇒居心地がいい場所が
たくさんあり、目的が
なくても時間を過ごし
たくなる

町田市が森野住宅周辺地区で目指したいこと



1

今の町田駅周辺とは「違うことができる場所・違う魅力のある場所」にする
⇒ 多様な人が訪れる

2

駅からつながる水と緑を感じる空間をつくる
⇒ まちで過ごす時間が増える

3

駅近くで多様な世代が暮らしやすく、
住み継がれる住宅地をつくる
⇒ 住みたい人が増える

町田市が森野住宅周辺地区で目指したいこと

駅近くの新たな都市空間づくり

JR横浜線と小田急線と境川に囲まれた約5.5 haの地区（森野住宅周辺）において、地区内の団地再生を契機として計画的に空間を活用することで、まちなかとは違った中心市街地の新たな魅力づくりを行います。

みんなの声

- ・ 緑を感じる場所がほしい！

● 駅近くの自然を活かした空間づくり

境川をはじめとした、地区内の自然を生かした空間づくりを行います。



ボードウォークのイメージ
／天王洲アイランド



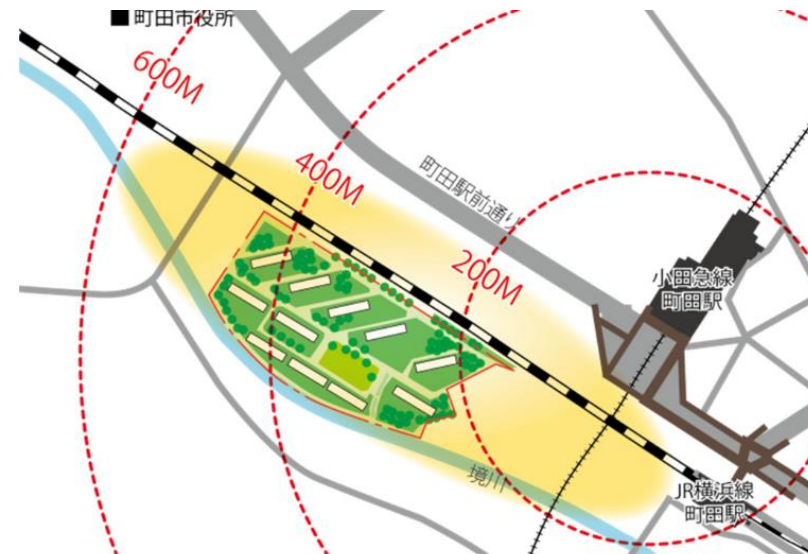
芝生広場のイメージ
／東京ミッドタウン



ランニングコースのイメージ
／駒沢オリンピック公園



災害時有効な広場のイメージ
／横浜 ガス山公園



● 自然を活かした空間の例

- ・ 親水空間（親水広場、ボードウォーク*①等）
- ・ 広場（憩い広場、芝生広場、子どもの遊び場等）
- ・ スポーツができる空間（ランニングコース、球技場等）
- ・ 災害時有効な広場 等

町田市が森野住宅周辺地区で目指したいこと

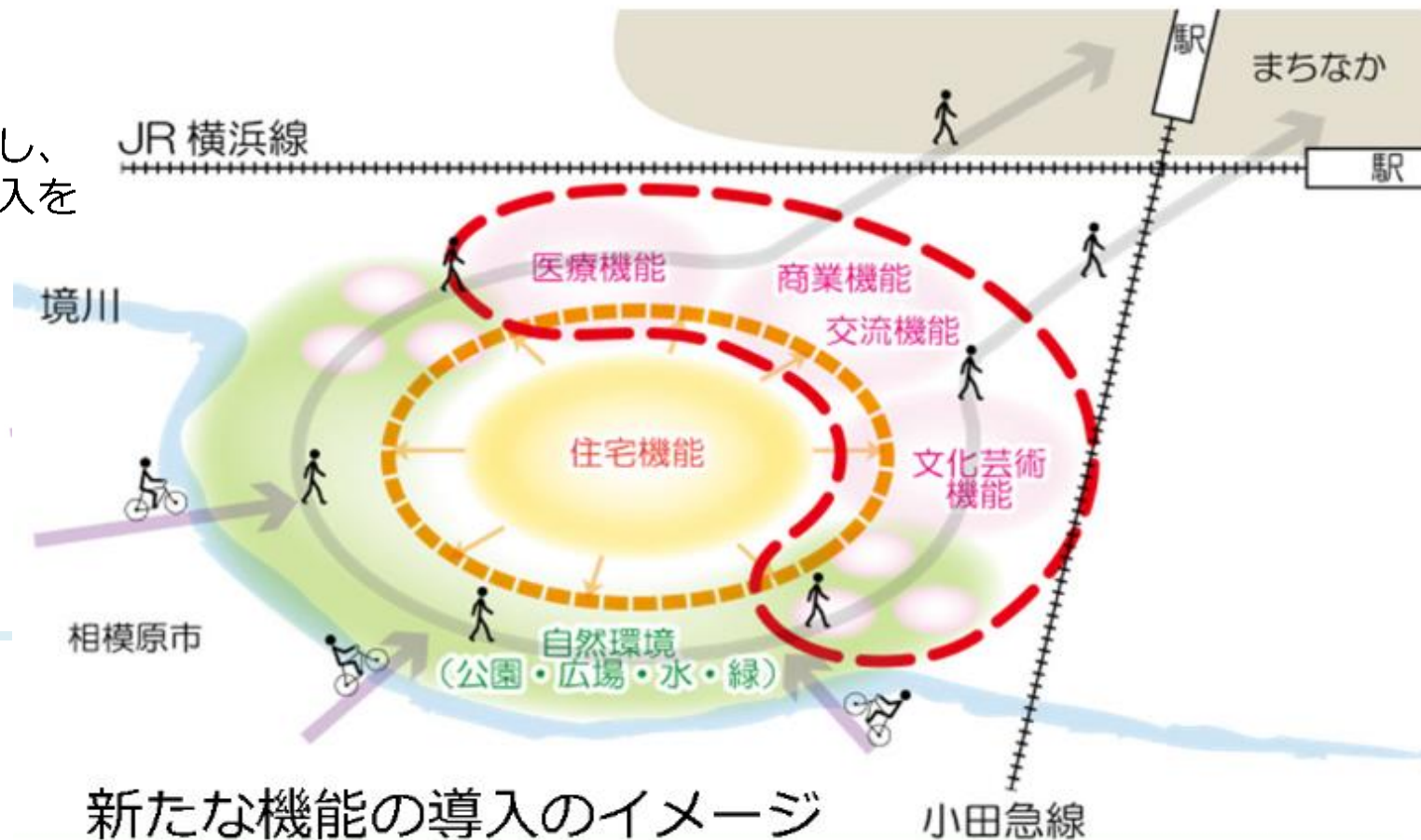
●まちなかにない新たな機能の導入

まちなかや駅に近い希少な空間を活かし、今の中心市街地にはない新たな機能の導入を図ります。

●新たな機能の例

- ・商業機能 …映画館
- ・文化芸術機能…ホール、劇場、博物館
- ・交流機能 …コンベンション*②施設、教育施設、ホテル
- ・医療機能 …病院、クリニック

等等
等等



2. まちづくり勉強会の趣旨と進め方

目的

町田市中心市街地まちづくり計画に示されている
「7. 駅からつながる水と緑の新たな都市空間づくり
プロジェクト」の具体化に向けて、地区の課題など必要な
情報や知識を共有しながらまちづくり構想案を作成する。

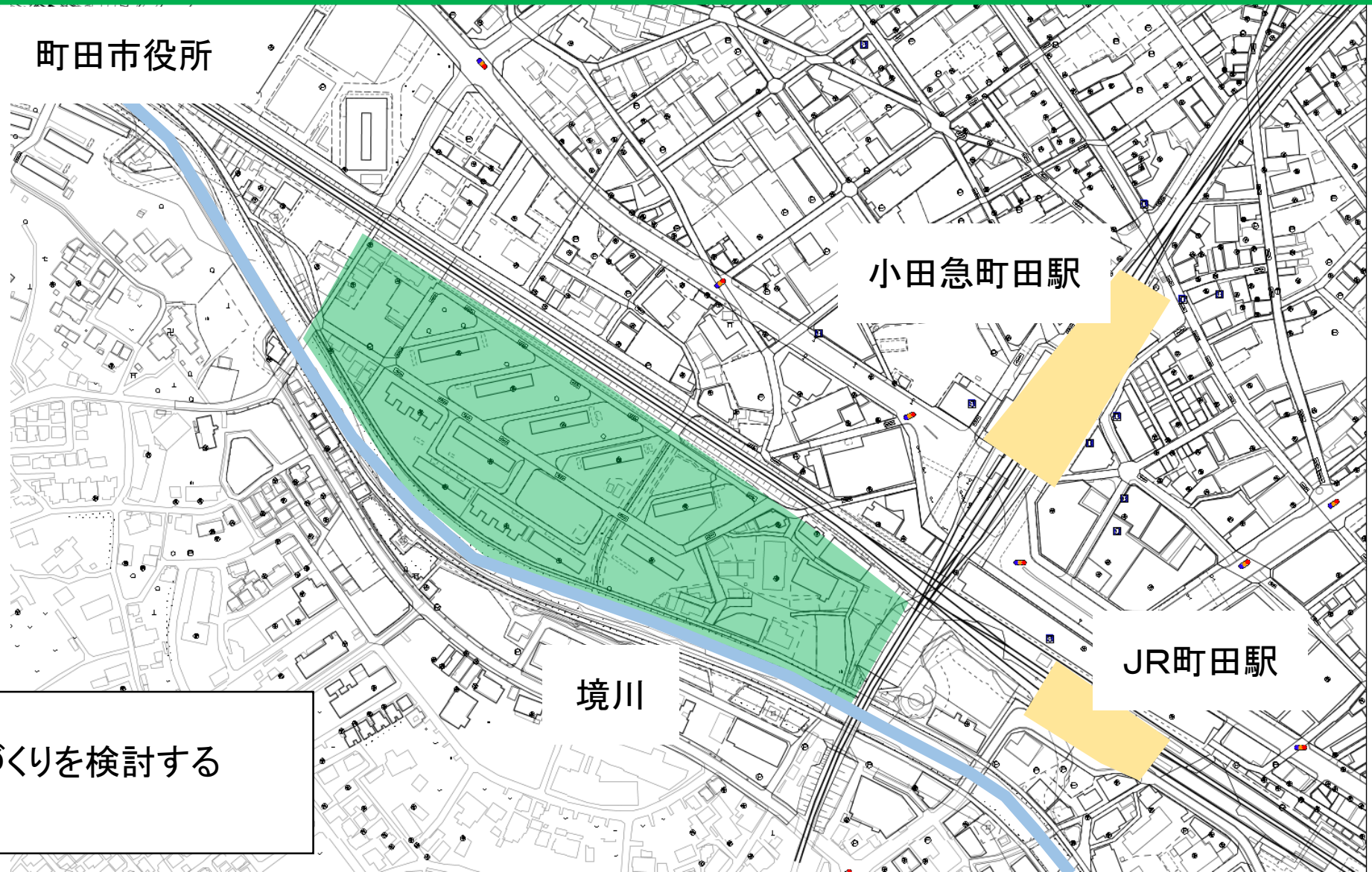
出席者

地区内に土地や建物を所有する方々

スケジュール

2021年度・2022年度の2か年
3カ月に1回 計6回程度を予定

まちづくりを検討する範囲



今後のスケジュール

進め方		内容（予定）	
2021年度	市のまちづくりの計画と地域の現状を知る	第1回 (今回)	<ul style="list-style-type: none"> ○町田市が目指すまちづくり ○まちづくり勉強会の趣旨と進め方 ○地区の現況整理
		アンケート実施（8月中発送予定）	
	まちの将来像を考える	第2回 (10/24予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○町田駅周辺のウォーカブル実現に向けた取組について ○アンケート結果報告
		個別訪問① 将来像の検討に向けたヒアリング	
2022年度	まちづくりを実現する方策を考える	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○個別ヒアリング結果の報告 ○まちの将来イメージ・コンセプト①
		第4回	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの将来イメージ・コンセプト② ○まちづくりの実現方策について①
	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりの実現方策について② ○まちづくり構想素案の説明 	
	個別訪問② まちづくり構想素案に対するヒアリング+アンケート		
	まちづくり構想案の策定	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ○森野住宅地区が目指す将来像をまちづくり構想案としてとりまとめ ○今後のまちづくりの進め方について